



コロナ感染症対策のため、マスクを着用することが多くなりますが、夏場でのマスク着用は熱中症のリスクが高まります。こまめな水分補給で熱中症対策をしましょう。

## 上田市手話言語等条例が 制定されました

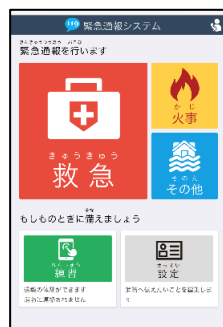
令和2年6月、上田市で手話言語等条例が成立し、7月より施行されました。この条例は正式には「上田市手話言語の普及及び視聴覚障害者等の意思疎通手段等の利用促進に関する条例」といい、手話言語だけでなく要約筆記や盲ろう者通訳介助、点字など様々なコミュニケーション手段の利用についても定められています。条例の中で上田市の施策として手話言語の理解促進、意思疎通手段に関する理解促進、学ぶ機会の提供等が定められています。県、佐久市に続き3番目の条例制定となります。地元上田市の聴覚障がい者からは「条例が制定されて大変うれしい」「これから理解を深めていきたい」との声がありました。

条例が議決された様子を動画にまとめました。動画「令和2年7月情報センターお知らせ」、またはDVD「上田市手話言語等条例制定」をご覧ください。



## NET119 各地で始まる

インターネットを使って119番に連絡できる「NET119」が長野市消防局、飯田広域消防本部で8月から運用が始まります。長野県内では諏訪、佐久、北アルプスの各広域消防ですでに運用されていて、今後他の地域でも導入する予定です。火事や救急の緊急時にスマートフォン等から通報ができ便利です。火事か救急か、場所を伝え、そのあとの具体的なやり方は文字チャットで会話します。



NET119のイメージ

情報センター制作DVD「緊急時の通報

方法について」ではNET119など緊急時の通報方法をまとめました。貸出していますのでご利用ください。

具体的な方法については各消防本部(局)へお問い合わせください。

## オンライン研修・会議

コロナ禍で集まって何かをすることがなかなか難しくなっているなか、オンラインで研修や会議をすることが増えています。

7月19日に行われたフォローアップ講座(手話通訳者現任研修)ではオンラインで研修を開きました。講師の寺澤さんと受講者とをオンラインでつなぎ、講義をしました。この時に使ったのがビデオ会議アプリZoomです。手話言語や文字による双方向のやり取りができるため質疑応答も可能です。

このほかZoomなどのアプリを使ってオンライン会議を開いているところもあり、積極的に新しいアプリを使っています。

また、全日本ろうあ連盟ではオンライン相談を受け付けています。専用のアプリを使って手話言語や文字によるビデオ通話で相談を受け付けています。

## 難聴者向け手話講座

難聴者や中途失聴者、またその家族向けの手話講座が開催されています。当日参加も可能です。お気軽にご参加ください。

日程：毎月第4木曜日(9月のみ25日(金))

時間：午後1時30分～3時30分

会場：県聴覚障がい者情報センター

筆談やヒアリンググループを使いながら進めます。

問い合わせ：長野県聴覚障害者協会

電話：026-295-3612

FAX：026-295-3610

メール：info@33nagano.com